

2014年12月16日

日本船主協会

教師に海運の現状と課題をプレゼン
~産業教育シンポジウムで講演~

(一財)経済広報センターの依頼により、2014年11月23日(日)東京ビッグサイトで開催された産業教育シンポジウムに当協会田中常務理事が、『海運の現状と課題』について講演を行った。これに合わせDVD「日本の海運」の一部も上映している。

同シンポジウムは、子供たちに上手な教え方や効果的な教材を広範に研究・共有することを目的とした教師をメインとする活動組織(TOSS*)内の産業教育研究会の主催によるもので、産業テキストを使用した模擬授業や産業テキストを如何に学校で活用するかなど教師による講演があり、当協会では、この機会に合わせて特別講演として海運紹介の時間を設けていただけただけのものである。講演後、先生方より多数の感想が寄せられたが、その一部は以下の通りである。

- ・物流や工業、貿易などの授業を通して、子どもたちに世界状況がわが国にどのような影響を与えているのか、世界とどう向き合っていくか、を考えさせていきたいと思いました。
- ・コンテナ船、自動車運搬船など、地理の授業で扱います。動画を見せることで生徒のイメージを高めることができます。
- ・日本の船に日本人がほとんど乗っていないという事実を聞いて驚きました。船が日本にとって重要な役割を船は果たしていることを、しっかり授業で教えていかなければいけないと思いました。
- ・子どもたちに海洋国家日本のことや国際状況や現状について教え、話し合っていきたいと思います。

今後も、当協会では教師向けをはじめとして広く海運の重要性や現状の理解を深めていただくよう広報活動を展開していく。

*TOSS(トス: Teacher's Organization of Skill Sharing の略)

(一財)経済広報センターでは、TOSS 産業教育研究会と共同で小学校の副教材等を制作し教育現場に配布している。海運関係では日本船主協会も制作に協力している。